

塗

装



～色を巧みに操り”デザイン”にする～

建設業は、現在 28 職種 of 専門業種に分かれております。その中には、建築一式を行う事業所のほかに、左官、型枠、鉄筋、建築塗装、防水、屋根、建具、とび、板金など専門的な業種の施工により建築物が建てられています。

建築塗装のお仕事 Q&A



Q

塗装工とは、いつごろ生まれたのでしょうか??

塗装の目的である物体の保護としては、石器時代に”漆”を使っていたことは確認されておりますが、建築物の油性塗料による塗装は、幕末にペリーが持参した塗料で木造談判所に塗装しました。

A



Q

塗装工は、どんな所で、どのような仕事をしていますか?

塗装は、建築物すべての建物の工事に携わるなくてはならない職種です。建物の内外問わず、場所や目的に応じて様々な工具や塗料を変えて工事を行っています。また、建築塗装だけでなく防水工事を行う会社もあり、屋上・外壁スペシャリストが多く存在するお仕事です。

A



Q

塗装には、どのような人が向いていますか??

塗装は屋外での作業が主になっているので、体が資本健康第一です。その他、色は人に与える影響が大きいので、デザイン的なセンスのほかカラーコーディネートの知識も必要になっていきますが、これらは、仕事をしていくうえで、徐々に身につけてきます。

A





Q

塗装の現状と将来性について聞かせてください！！

塗装の仕事は新築工事は、もちろんのこと、マンションや学校など大きい建物から、一戸建て住宅など様々な分野に於いて建物をリフレッシュさせています。

その他、塗料としては、科学研究が進められ、環境にやさしい材料として、遮熱塗料や学校や幼稚園などで積極的に活用されている低臭性の塗料など将来について業界全体として取り組んでいます。

A



Q

塗装職人の充実感はどのようなときですか？

塗装は、仕上げの工事に携わるため、その仕上がりがきれいに出来たときに充実感があります。また、パターン塗装などデザイン塗装も出来栄えがよい時にも感じます。塗装は、気候によって劣化しますのでまた仕事が頂けるように努力しています。

A



Q

どうすれば塗装職人になりますか？キャリアアップはどうすればできますか？

塗装工になるには、特に学歴や資格は問われません。ハローワークなどでの求人情報のほか、人材を育成している職業訓練施設（技術専門学院）などでも情報があります。通常は、職場の先輩から指導を受けますが、職業訓練施設で週に1日、基礎的な技能を身につけることもできます。そして、国家資格（技能士）を取得したり、技能競技大会などに出場し、全技連マイスターや厚生労働大臣の表彰を受けたりすることができます。

A

